No.46

協会だより

平成 29 年 11 月号

一般社団法人高知県木材協会

Japan Home & Building show 2017

10 月・11 月は県内外でイベントが沢山開催されました。

丁度のタイミングで台風が襲来することも 2 週続けてあり、屋外でのイベントは残念なことに「大阪森林の市 10/22・もくもくランド 2 日目 10/29」が中止となりました。

今年のジャパンホームショー開催(11/15～17)は「木材まつり 11/16」「丸宇土佐材展 11/17」「ものづくり総合技術展 11/16～18」などと日程が重なりましたが、土佐材流通促進協議会から 3 社が参加し、高知県産業振興センターのコマで高知県産木材の地産外商活動に取り組みました。

開催日：平成 29 年 11 月 15 日(水)～17 日(金)
場所：東京ビッグサイト
来場者：41,576 人
参加企業：株式会社吾川森林、クルミ工房
(協)ドライウッド土佐会

第 3 回全国木のまちサミット

開催日：平成 29 年 9 月 30 日(土)
場所：中土佐町立久礼中学校

全国木のまちサミットが高知県で開催されました。木造大型施設としても有名な久礼中学校の体育館に全国から約 100 人が集い講演会などが催されました。

高知県木材普及推進協会からは「木と人出会い館」の塩田館長が 15 年間の歩みや人との繋がりの大切さについて講演を行いました。

翌日は現地研修として H 型架線集材現場、グッドデザイン賞を受賞した津波避難タワー、道の駅「なかとさ」の視察を行いました。

ウッディフェスティバル 2017

開催日：平成 29 年 10 月 7 日(土)・8 日(日)
場所：サンメッセ香川

高知県産木材の消費地として縁の深い香川県で消費者イベントが今年も開催されました。

(株)なかよしライブラリー

(株)SUNSHOW

ばうむ合同会社

高知県森林協会の要望活動

森林・林業・木材産業、森林土木事業に関連する 5 団体で構成する高知県森林協会（中越利茂会長）は、10 月 10 日午後、県議会議長で森林・林業・林産業活性化推進高知県議会議員連盟会長の浜田氏と事務局長の明神氏に、続いて高知県林業振興・環境部長に、森林整備、木材関係、治山・林道関連の全 9 項目について要望を行いました。

佐賀市の CLT 建築工事現場見学会

佐賀市にある松尾建設株式会社の新社屋建設工事の説明会に参加しました。

開催日：平成 29 年 10 月 13 日(金)

場所：佐賀市多布施

出席者：約 50 名

参加者：野地（高知県木材協会）

概要：国土交通省のサステナブル建築物等先導事業(木造先導型)に平成 28 年度採択され、平成 30 年 3 月末完成を目指して工事が進められています。

今回、事務所棟(6 階建て、2～5 階床 CLT 造)の工事現場を見学しました。2 時間耐火の大臣認定を取得していて、現場は 210mm 厚 CLT を施工し、床面や天井面を石膏ボードで被覆する前の状態でした。

IoT 現場視察（四万十町集落営農）

高知県産業創造課 IoT 推進室主催による「集落営農現場における ICT 活用の検討」と題して現場視察会が開催されました。

開催日：平成 29 年 10 月 18 日(水)

場所：高知県立農業担い手育成センター

露地栽培への活用は緒に就いたばかりですが、森林・林業・木材産業への普及はまだまだ先のようです。

IoT とは：あらゆる物がインターネットと繋がること

ICT とは：情報通信技術のこと

木材まつり（素材の部）

開催日：平成 29 年 10 月 24 日(火)
場所：高知県林材(株)
参加者：買い方 70 人、出荷者 31 社
出材：民有林 1,534 ㎥、国有林 507 ㎥
販売実績：民有林 1,026 ㎥、国有林完売
四国森林管理局長賞：
十二所神社　総代長　北村　光　様
高知県知事賞：清水産業株式会社　様
高知県木材協会長賞:
住友林業フォレストサービス(株)　様
有限会社吉川林業　様
有限会社伊藤林業　様

左端は天然桧 10m、1 ㎥あたりの単価 160 万円で落札されました。

木と人・出会い館 15 周年記念誌出版を祝う会

開催日：平成 29 年 10 月 22 日(日)
場所：得月楼 2 階(高知市南はりまや町)
出席者：約 80 名

木と人・出会い館の 15 年の家づくりを収めた記念誌「木と歩み　人を結ぶ」の出版を記念して祝う会が、施主、建築士、工務店、職人、木材供給者、高知県ほか関係する多くの方々が出席する中、得月楼にて開催されました。

当日は台風の影響で風雨の激しい中ではありましたが、木と人・出会い館にゆかりのある女優の日色ともゑさんからの心温まる祝辞をいただき、11 名の施主にインタビューするなど、感謝の気持ちで溢れた昼食会でした。

高知県立林業大学校新校舎完成見学会

開催日：平成 29 年 10 月 21 日(土)
場所：香美市土佐山田町大平

CLT を活用した高知県立林業大学校新校舎の完成見学会が開催され、県内の多くの方が参加しました。

木材をふんだんに活用された校舎は教育の場としては最高の環境が整えられています。

今後は、来年度正式開校に向けて屋内の机椅子等の備品の整備が進められます。

中国・四国ブロック JAS 検査員・審査員担当者の認定業務等研修会

日時：平成 29 年 10 月 23 日(月)13:30～17:30、24 日(火)9:00～12:00
場所：10 月 23 日　研修会場　鳥取シティホテル(鳥取市戎町)
　　10 月 24 日　認定工場における模擬実習　若桜木材協同組合(八頭郡若桜町)
出席者：29 名　参加者：野地（高知県木材協会）

JAS 検査員・審査員の認定業務等技術レベルの向上のため、研修会が鳥取市で開催されました。
模擬実習としてスギ柱材を用いて具体的に品質評価を行う際の注意事項等を確認することができました。

もくもくランド 2017

これぐらいは簡単に伐れますね。

みんなに届け紅白の餅

高知県木造住宅フェア　第 13 回もくもくランド 2017 が今年も高知市の中央公園で開催されました。メインテーマは「広げよう木づかいの輪」、雨にもかかわらず開会式直後の餅投げでは多くの人が参加してくれました。台風接近が心配される中 10 月 28 日(土)は予定どおり決行、29 日(日)は気象警報が出たことから残念ながら中止となってしまいました。

雨やけど全部売れるかなあ?

台風でも明るいフォレストのテント

天候のせいとは云え２日目が中止となったことはまことに残念な結果となりました。ご協力戴きました皆様方に感謝申し上げます。

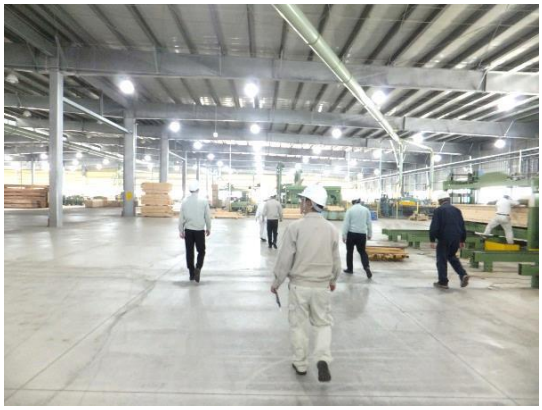
高知商工会議所木材部会　視察研修

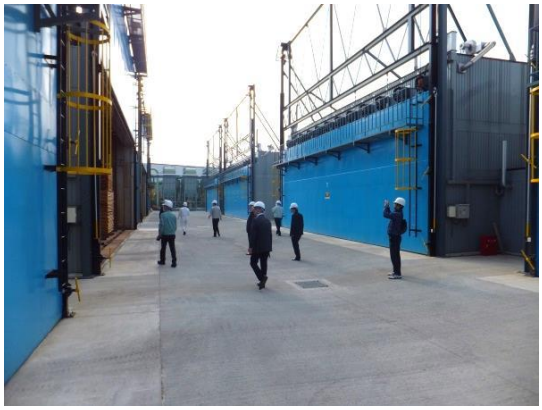
開催日：平成 29 年 11 月 2 日(木)
場所：①丸和林業株式会社大豊工場　②株式会社サイプレス・スナダヤ新工場
参加者：14 人

①丸和林業株式会社大豊工場

紙の生産は毎年少しずつ落ちてきているが、発電燃料としてチップの需要は増えている。
平成 26 年から稼働している。1 カ月の原料消費量は約 3,000t。

②株式会社サイプレス・スナダヤ新工場





工場の広さに圧倒される。現在の稼働率は 78%、月間 12,000 ㎥の原木消費量。
従業員は 130 人 2 交代制。設備費用は約 80 億円。来年春には CLT 工場も完成する予定。

第 52 回全国木材産業振興大会

開催日：平成 29 年 11 月 9 日(木)
場所：奈良県奈良市　奈良 100 年会館
高知県関係表彰者：山上　哲生　氏(林野庁長官感謝状)
松岡　良昭　氏(全木連会長表彰状)
三木　康弘　氏(全木協連会長表彰状)
来年は広島県で開催されますが、その次の年は高知県の予定です。皆様ご協力を宜しくお願いします。

第 5 回幡多山もりフェス 2017

開催日：平成 29 年 11 月 12 日(日)
場所：四万十川河川敷
来場者：約 6,000 人
木材協会は合法木材の普及啓発を目的として毎年参加しています。
とは言え、木のおもちゃ・木の玉プールを提供し、子ども達にいっぱい遊んで貰いました。
これからも木育活動を継続していきます。

木材まつり（製品の部）

開催日：平成 29 年 11 月 16 日(木)
場所：協同組合高知木材センター
優秀出品表彰は以下のとおり
高知県知事賞：丸幸木材株式会社　様
四国森林管理局長賞：有限会社丸桧　様
高知県木材協会長賞：
窪内木材株式会社　様
橋本木材店　様
山和木材株式会社　様
轟林産有限会社　様
有限会社門田林産　様
高知おおとよ製材株式会社　様

来場者：買い方 41 社
出材：1,771 ㎥
販売材積：約 681 ㎥

第 6 回ものづくり総合技術展

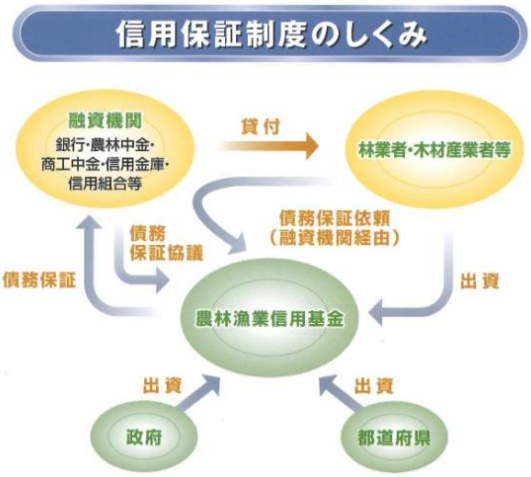
開催日：平成 29 年 11 月 16 日(木)～18 日(土)
場所：高知ぢばさんセンター(高知市布師田)
出展事業者：132 社
来場者：約 20,000 人

高知県木製品工業連合協同組合の会員の土佐龍、フォレスト、四万十町森林組合大正集成工場、ミロクテクノウッド、土佐組子の 5 事業体が個別に、また当組合(新加入の湯浅氏と武田氏)も出展し、優れた製品や技術を多くの来場者に紹介しました。

林業金融制度説明会

開催日：平成 29 年 11 月 16 日(木)
場所：高知県森林組合連合会
参加者：約 50 人

森林組合、林業事業体、県林業事務所の担当者らが集まり、農林漁業金融信用基金、木材産業振興課、経営支援課等の担当者から林業・木材産業で活用できる制度を説明して頂きました。木材協会からは全国木材協同組合連合会が取り扱う林野庁助成事業について説明しました。



高知県立林業大学校新校舎落成式

日時：平成 29 年 11 月 22 日 11:00～12:00

場所：高知県立林業大学校新校舎(香美市土佐山田町大平)

出席者：約 100 名(関係者、マスコミを含む)

来年度正式開校する林業大学校新校舎が完成し、現地で落成式が行われました。

初代校長として就任予定の世界的に有名な建築家隈研吾氏からは、高知との関わり、高知の技術レベルの高さ、当該大学校の果たすべき役割等について述べられました。

新校舎は県内の建築士が設計し、木造 2 階建て(延べ床面積約 1460m²)で屋根や床や壁に CLT が使用されています。

優良材展示即売会（素材生産業協同組合連合会主催）

天然魚梁瀬杉は原則伐採休止、「最後の魚梁瀬杉 58 本」が銘木市場に出品されました。希少価値を求めて全国から買い方が約 100 人集い活発なセリが展開されました。9 月に伐採した 500 ㎥のうち今回は 86 ㎥の販売、残りは次回以降のお楽しみとなりました。

開催日：平成 29 年 11 月 24 日(金)
場所：高知県林材株式会社

苔を背負う堂々の風格、坂本龍馬より 100 歳年上と考えれば最高値の㎥ 36 万円は少し残念な価格かも。

土佐材流通促進協議会

1. 消費地商談会事業

①木の家セブンの勉強会に参加

開催日：平成 29 年 10 月 17 日(火)
場所：東京都千代田区三番町
参加者：22 人(うち高知県参加者 5 人)

「木の家セブン」は関東地域で木の家づくりにこだわりのある設計士の集団。協力工務店などを交えて毎月勉強会を開催しています。土佐材流通促進協議会も高知県産材の PR で参加しました。

② ジャパンホームショーに出展

開催日：平成 29 年 11 月 15 日(水)～17 日(金)
場所：東京ビッグサイト東 2 ホール
高知県産業振興センターブース内

ホームショーもこれで 5 年連続の出展となりました。

1 ページ目にも載せていますが、開催期間中に尾﨑知事も視察に来られました。

今回は新規開拓というよりは既存の取引先との顔合わせが多かったようです。東京の会場で香川や大阪の顔見知りと多数面談できました。

次の消費地商談会は

WOOD コレクション（モクコレ）２０１８　への参加を予定しています。

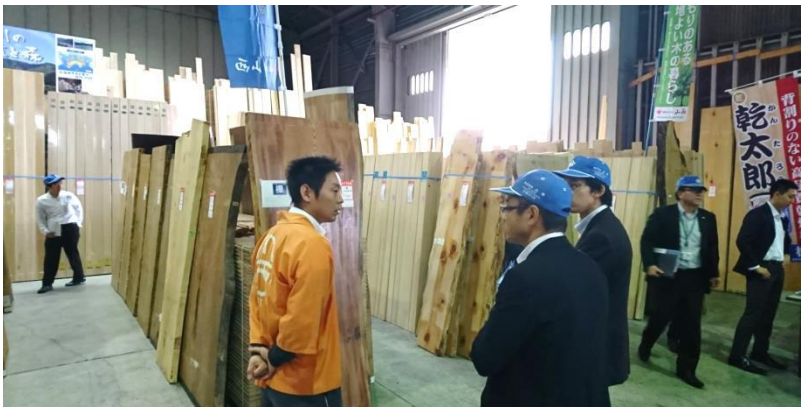
開催予定日：平成 30 年 1 月 30 日(火)～31 日(水)
場所：東京ビッグサイト東 7・8 ホール
参加予定会員：(株)土佐龍、(有)戸田商行、
高知県木製品工業連合協同組合
【(株)イータス・インザルーム、(株)井筒屋】
(協)ドライウッド土佐会、
(株)吾川森林、(協)高知木材センター
展示品協力：(株)エコアス馬路村、
(株)なかよしライブラリーなど
同時出展：高知県林業活性化推進協議会
(非住宅建築物木造化促進事業検討会)

写真は昨年のジャパンホームショーの展示

2. 展示会事業

① 山西プロウッドスタイルフェア

開催日：平成29年10月21日(土)
～22日(日)
場所：愛知県弥富市
(株)山西プレカット工場
来客数：約2,500人
展示品：桧の役物　約50㎥
参加者：(協)高幡木材センター、
(協)西部木材センター



② 高松太洋木材市場　第3回土佐材まつり

開催日：平成29年11月2日(木)
場所：香川県高松市郷東町
(株)太洋木材市場
来場者：買い方約60人
展示品：杉・桧の一般材・役物
約450㎥
土佐材の販売：約150㎥
(金額：約940万円)

③ 丸宇木材市売　第8回土佐材展示会

開催日：平成29年11月17日(金)
場所：茨城県下妻市
丸宇木材市売(株)下館市場
来場者：買い方約80人
展示品：杉・桧の一般材・役物
約430㎥
土佐材の販売：約300㎥

次の展示会は

大阪木材相互市場謝恩大売出し　第2回高知県産材フェア　の開催を予定しています。

開催日：平成29年12月12日(火)
場所：大阪市港区市岡　(株)大阪木材相互市場

木材輸出の促進

第1回台湾大葉高島屋　高知観光物産展

開催日：平成29年10月20日(金)～31日(火)　　場所：台湾台北市土林区

台湾高島屋での第1回高知県観光物産展に桧の木製品なども出品し販売した。

食品、刃物、日本酒などの高知県産品の販路拡大とともに木製品も県内の7社が参加し、高い評価を得ました。とくに桧の無垢製品は台湾でも評判が良く、今後の輸出拡大に手ごたえを感じました。

木製品に関しては関税も掛からず、またコンテナ費用も意外と安くあがりました。

県内木製品参加企業：池川木材工業(有)、(株)イータス・インザルーム、(株)土佐龍
(株)井筒屋、(株)なかよしライブラリー、四万十町森林組合大正集成材工場、
(社福)こだかさ更生センター

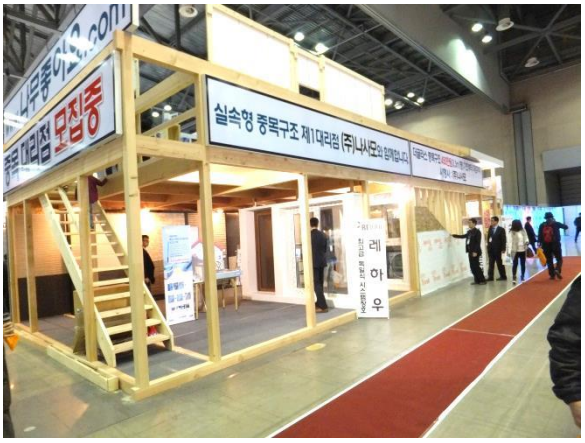
次の輸出促進事業は

KOREA BUILD 2018 への出展を予定しています。

開催日：平成30年2月22日(木)～25日(日)

場所：韓国キョンヒャン
KINTEX Exhibition Center

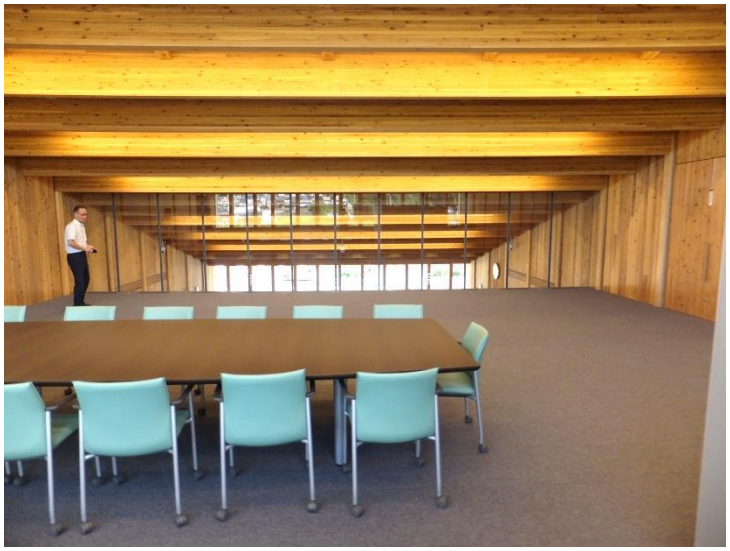
出展予定企業：池川木材工業(有)
(株)吾川森林
丸和林業(株)
(株)なかよしライブラリー



写真は2015年視察時に撮影

第 15 回高知県木の文化賞

平成29年度の高知県木の文化賞がこの程発表され、「木造建築物及び木造建造物の部」では宿毛商銀信用組合本店・宿毛支店が受賞しました。



全国的にも珍しい木造の金融機関施設です。日本で初めてCLTを主要構造物に用いた銀行です。2階は広い会議室となっています。

構造：木造2階建(軸組工法+CLT)

竣工：平成29年6月

延床面積：804.83㎡

木材使用料：製材122㎥+集成材26㎥+CLT45.5㎥=193.5㎥

住宅着工情報

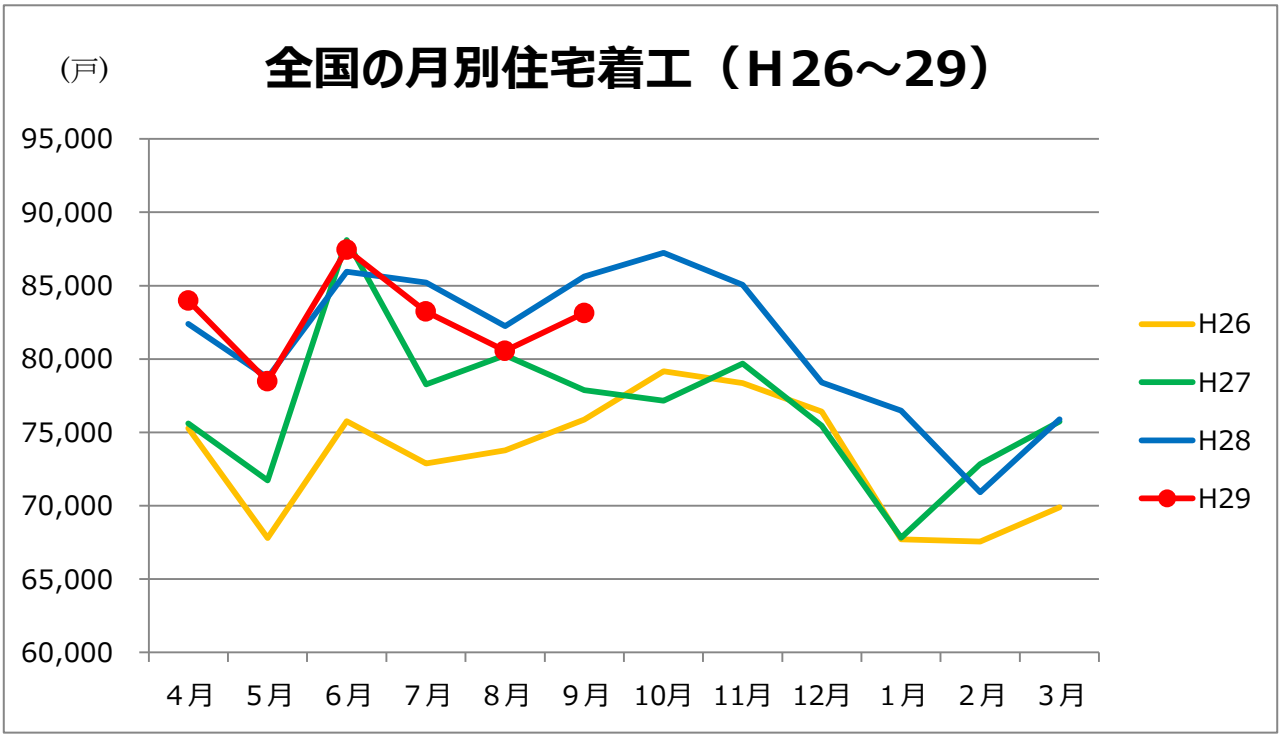
資料(1)全国住宅着工戸数

平成２９年　９月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表　（単位：戸、%）

	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比
北海道	3,653	6.4	1,131	3.5	2,125	5.9	116	582.4	281	-11.4	105	-16.7	176	2.9
青森	694	4.5	389	3.5	269	11.6	2	-33.3	34	-22.7	0	0.0	34	-22.7
岩手	757	23.9	374	9.4	332	51.6	5	150.0	46	-4.2	0	0.0	46	-4.2
宮城	2,054	18.0	557	-8.1	992	22.2	0	-100.0	505	57.3	285	493.8	220	-19.4
秋田	270	-25.6	204	-7.3	32	-74.2	1	-50.0	33	94.1	0	0.0	33	94.1
山形	596	19.0	313	25.7	216	5.4	1	-50.0	66	46.7	0	0.0	62	37.8
福島	1,408	-2.7	576	14.7	644	-15.5	3	-97.1	185	134.2	54	－	131	65.8
茨城	2,053	-6.9	871	4.4	823	-27.2	3	200.0	356	48.3	46	－	310	29.2
栃木	973	-21.5	496	-2.4	250	-55.3	1	0.0	226	32.2	56	－	170	-0.6
群馬	1,256	11.8	562	0.7	491	23.7	3	0.0	200	21.2	0	0.0	200	22.7
埼玉	5,435	2.1	1,310	-11.8	2,354	12.9	26	44.4	1,745	0.8	357	-4.0	1,371	1.9
千葉	4,795	-14.0	1,198	4.3	2,181	3.5	0	-100.0	1,416	-38.5	402	-68.6	1,000	-2.3
東京	11,564	-15.0	1,374	-0.5	6,055	-5.6	25	4.2	4,110	-29.0	2,630	-37.0	1,410	-9.4
神奈川	6,311	-5.5	1,312	-11.9	2,976	-3.8	100	9,900.0	1,923	-8.3	570	17.8	1,276	-17.7
新潟	1,147	3.9	556	0.7	518	1.2	0	0.0	73	82.5	0	0.0	73	82.5
富山	676	-2.6	280	-18.6	358	18.2	1	-87.5	37	-5.1	0	0.0	37	27.6
石川	744	6.0	326	0.3	345	4.9	2	－	71	47.9	0	0.0	59	22.9
福井	245	-38.9	168	-24.0	46	-68.7	0	0.0	31	-6.1	0	0.0	31	-6.1
山梨	276	-14.6	214	5.9	41	-56.8	0	0.0	21	-19.2	0	0.0	21	-19.2
長野	1,083	-5.6	598	-0.8	333	-24.1	2	100.0	150	44.2	63	231.6	87	2.4
岐阜	1,095	28.7	465	-8.3	415	105.4	9	800.0	206	46.1	49	88.5	157	36.5
静岡	1,878	-13.8	948	-7.7	608	-31.3	58	1,833.3	264	0.0	39	－	225	-14.8
愛知	5,794	3.0	1,451	-13.7	2,783	7.1	13	62.5	1,547	15.6	570	128.0	967	-9.6
三重	899	5.3	444	-9.2	307	17.6	17	325.0	131	31.0	39	－	92	-8.0
滋賀	1,038	48.3	376	10.9	306	40.4	1	-50.0	355	151.8	265	881.5	90	-21.1
京都	1,180	-9.1	407	-13.0	546	1.7	1	-50.0	226	-22.3	0	-100.0	226	-2.2
大阪	5,556	10.2	981	3.4	2,596	2.6	9	-35.7	1,970	27.3	1,122	49.8	848	10.4
兵庫	2,696	-16.7	857	-3.7	1,236	11.4	8	166.7	595	-51.8	131	-82.7	454	-4.6
奈良	580	-7.5	216	-18.8	221	1.8	0	0.0	143	-0.7	0	0.0	143	-0.7
和歌山	304	-42.9	215	-23.5	51	-73.2	2	100.0	36	-40.0	0	0.0	36	-37.9
鳥取	228	-8.8	140	37.3	84	-36.4	1	-90.0	3	-50.0	0	0.0	3	-50.0
島根	275	-21.9	154	13.2	116	-14.1	2	－	3	-96.3	0	-100.0	3	-62.5
岡山	1,474	5.4	491	-10.2	807	37.0	3	－	173	-34.0	85	-46.2	88	-15.4
広島	1,841	14.4	497	-11.6	664	12.0	0	-100.0	680	55.6	368	72.8	312	39.3
山口	595	-11.2	254	-8.0	146	-59.1	74	7,300.0	121	236.1	66	－	55	52.8
徳島	348	-0.6	179	0.6	113	-27.6	10	－	46	187.5	0	0.0	36	125.0
香川	530	-32.2	269	-6.6	138	-59.2	0	0.0	123	-21.2	84	-28.2	39	0.0
愛媛	670	15.5	318	5.3	271	32.8	0	-100.0	81	22.7	45	136.8	36	-23.4
高知	313	44.9	134	-9.5	66	53.5	0	-100.0	113	438.1	90	－	23	9.5
福岡	3,621	11.0	885	-3.6	1,793	11.1	4	-20.0	939	29.7	564	68.9	375	-3.8
佐賀	505	-3.3	198	10.0	214	-24.6	1	0.0	92	61.4	58	－	34	-26.1
長崎	667	-19.9	262	-0.8	245	-39.4	1	-66.7	159	-1.9	129	-1.5	30	3.4
熊本	1,558	60.8	754	62.9	645	53.6	12	140.0	147	81.5	45	125.0	102	67.2
大分	687	11.2	247	3.8	293	8.1	3	-62.5	144	42.6	88	131.6	56	-11.1
宮崎	637	6.2	284	6.0	242	-9.7	0	0.0	111	73.4	59	－	52	-18.8
鹿児島	956	-11.0	406	-1.0	361	-38.5	2	-71.4	187	167.1	108	－	79	12.9
沖縄	1,213	-29.2	242	-31.8	873	-31.7	0	-100.0	98	22.5	56	93.1	39	-20.4
合　計	83,128	-2.9	24,883	-2.7	37,521	-2.3	522	68.4	20,202	-5.3	8,628	-9.2	11,347	-2.2
北海道	3,653	6.4	1,131	3.5	2,125	5.9	116	582.4	281	-11.4	105	-16.7	176	2.9
東北	5,779	8.5	2,413	5.1	2,485	5.2	12	-89.6	869	56.9	339	606.3	526	4.0
関東	33,746	-9.3	7,935	-3.3	15,504	-5.0	160	158.1	10,147	-19.6	4,124	-34.8	5,845	-5.1
北陸	2,812	-3.1	1,330	-7.8	1,267	-1.9	3	-62.5	212	32.5	0	－	200	33.3
中部	9,666	1.6	3,308	-10.7	4,113	4.2	97	506.3	2,148	16.5	697	152.5	1,441	-7.0
近畿	11,354	-0.7	3,052	-4.4	4,956	3.2	21	-4.5	3,325	-2.7	1,518	-4.8	1,797	0.3
中国	4,413	3.1	1,536	-5.4	1,817	0.6	80	185.7	980	19.2	519	16.9	461	22.0
四国	1,861	-3.5	900	-1.7	588	-20.6	10	-16.7	363	40.2	219	61.0	134	8.9
九州	8,631	9.6	3,036	10.8	3,793	-1.4	23	-20.7	1,779	41.3	1,051	101.0	728	0.7
沖縄	1,213	-29.2	242	-31.8	873	-31.7	0	-100.0	98	22.5	56	93.1	39	-20.4
首都圏	28,105	-9.9	5,194	-5.6	13,566	-1.0	151	169.6	9,194	-22.9	3,959	-37.2	5,057	-7.6
中部圏	9,666	1.6	3,308	-10.7	4,113	4.2	97	506.3	2,148	16.5	697	152.5	1,441	-7.0
近畿圏	11,354	-0.7	3,052	-4.4	4,956	3.2	21	-4.5	3,325	-2.7	1,518	-4.8	1,797	0.3
その他地域	34,003	1.5	13,329	1.2	14,886	-6.7	253	17.1	5,535	33.1	2,454	85.2	3,052	9.6

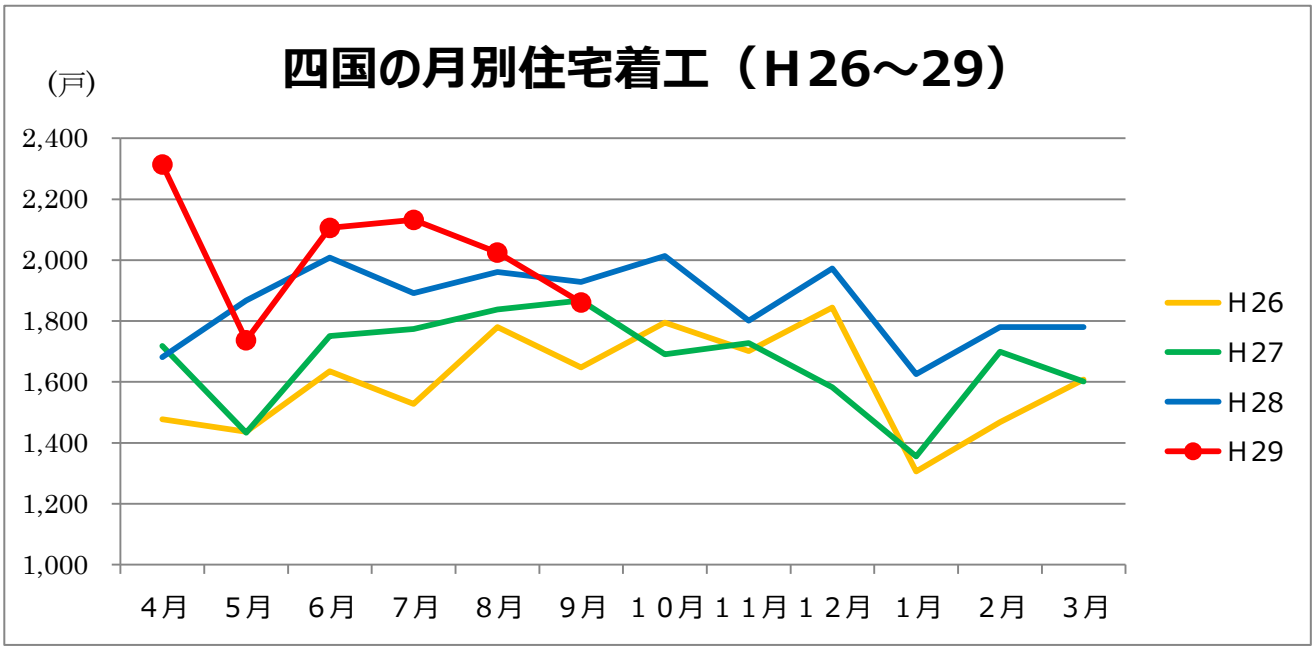
政府統計資料による

資料（2）全国の月別新設住宅着工戸数(26 年度～29 年度)　　29 年 9 月まで

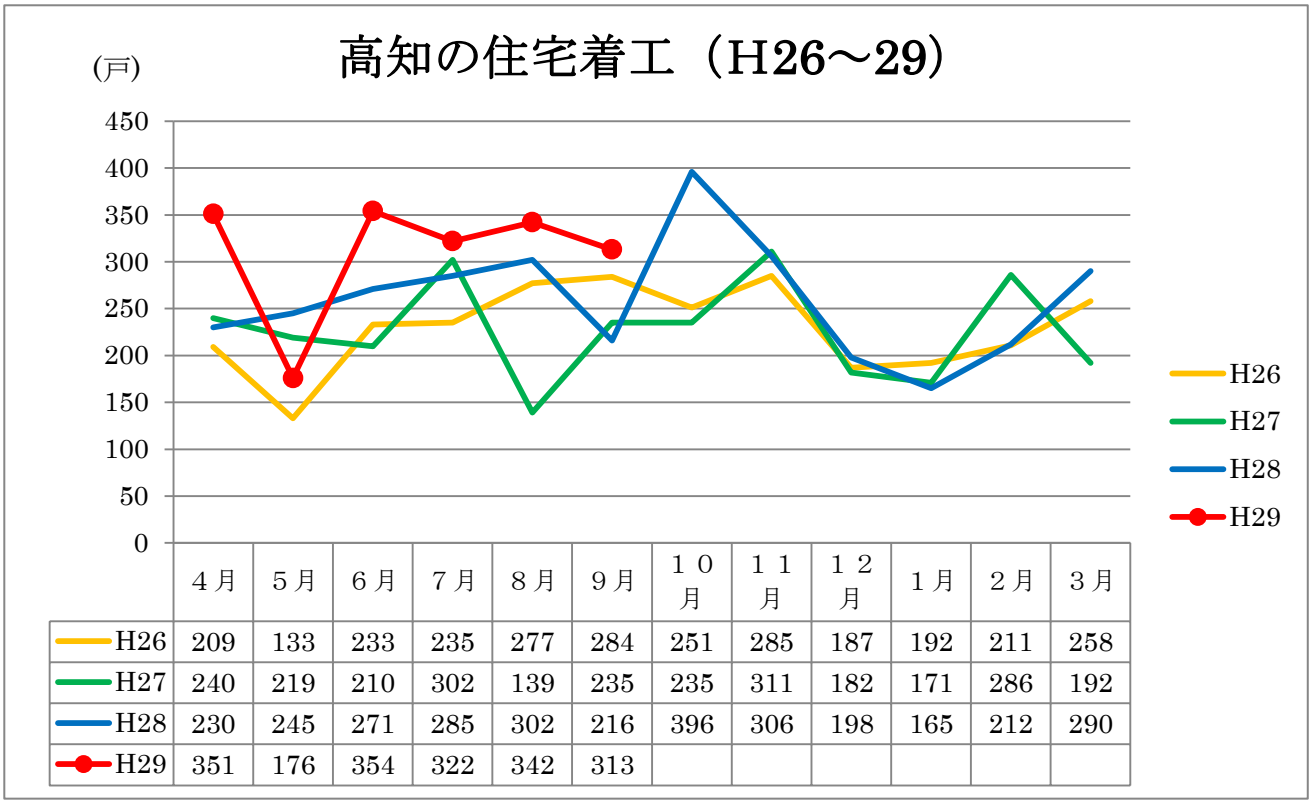


平成 29 年 9 月の全国の新設住宅着工数は 83,128 戸で前年同月より 2.9%減と 3 ヶ月連続でやや減少した。持ち家（注文住宅）は、前年同月比では 2.7%減の 24,883 戸と減少した。貸家も、前年同月比 2.3%減の 37,521 戸と減少した。分譲住宅は、一戸建てが同 2.2%減の 11,347 戸マンションは同 9.2%減の 8,628 戸とともに減少となった。今月は全体的にやや微減となっている。賃貸がこの水準でいつまで続くか次第だが、今後しばらくはこの様相で推移しそうだ。今後は資材の値上げの様相や、首都圏を中心にオリンピック関係の工事や海外旅行者の増加によるホテルの建設ラッシュ等もあり、建築関係者の人手不足や物流面でのトラック不足などが懸念される。

資料(3)　四国の月別新設住宅着工戸数(平成 26～29 年度)　　29 年 9 月まで

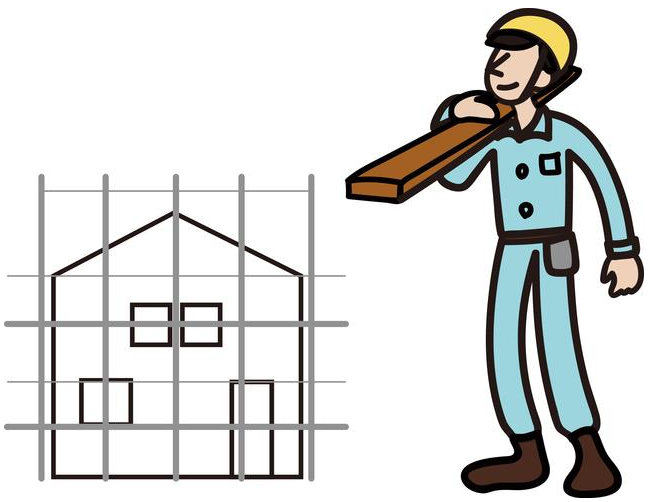


資料(4)　高知県の月別新設住宅着工戸数(平成 26～29 年 9 月まで)



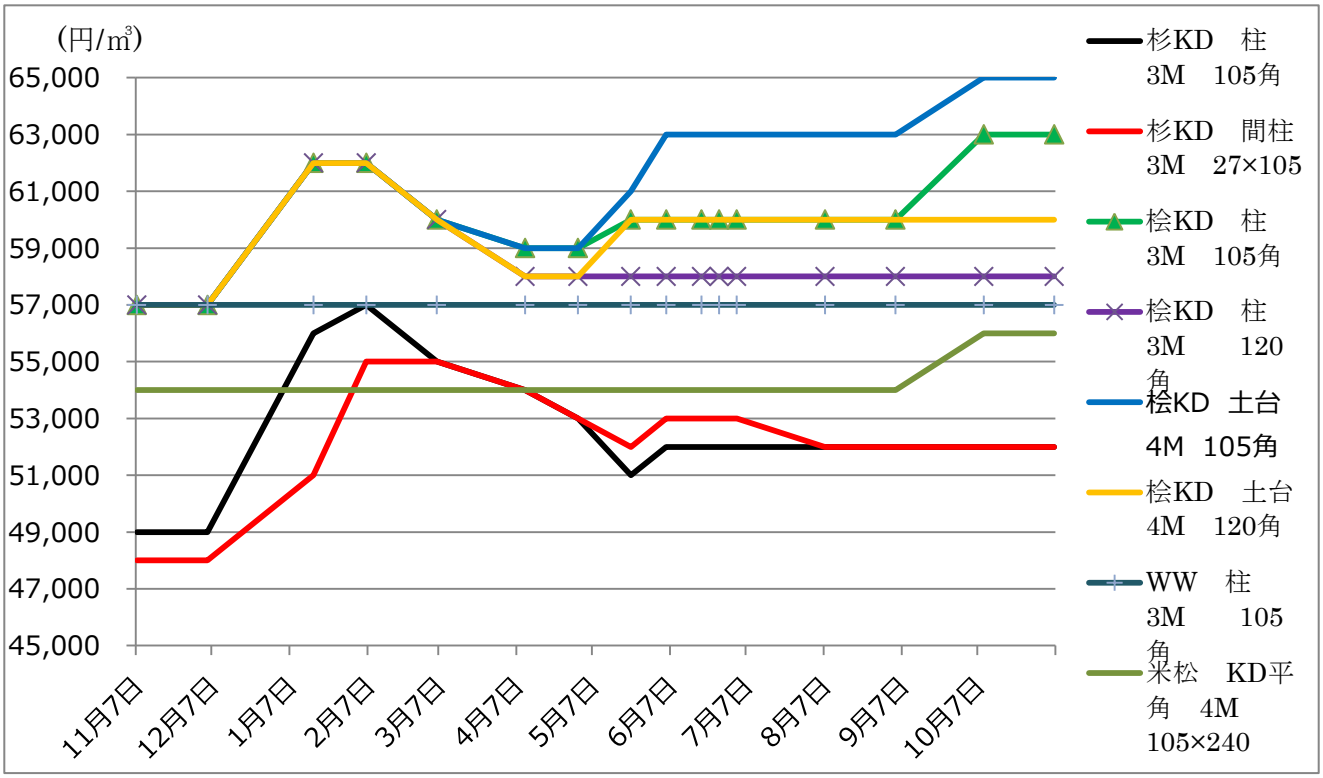
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H26	209	133	233	235	277	284	251	285	187	192	211	258
H27	240	219	210	302	139	235	235	311	182	171	286	192
H28	230	245	271	285	302	216	396	306	198	165	212	290
H29	351	176	354	322	342	313						

高知県の平成 29 年 9 月の住宅着工数は、前年度比 44.9%増の 313 戸となり、2 か月連続で大幅に増加した。持ち家は、前年同月比 9.5%減の 134 戸と 2 ヶ月連続の減となった。貸家は時期調整もあるが 53.5%増の 66 戸と大幅増となり相変わらず好調だ。分譲は同 438.1%増の 113 戸で、内訳は大型分譲マンションの完成があり 90 戸、分譲住宅は 9.5%増の 23 戸だった。県内の新設着工住宅は、29 年度は全体的に好調を維持しているが、貸家と分譲マンションが全体を押し上げている。今後の見込みは貸家がいつまで続くか次第だが、年末までは同水準で推移する見込み。



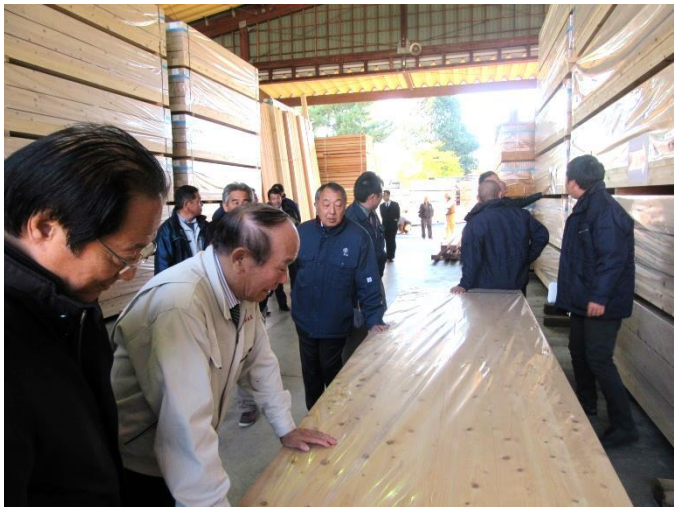
木材価格情報

資料(5)　製品市況　関東市売り場(28 年 11 月～29 年 11 月 6 日まで)　木材ウイークリー参照



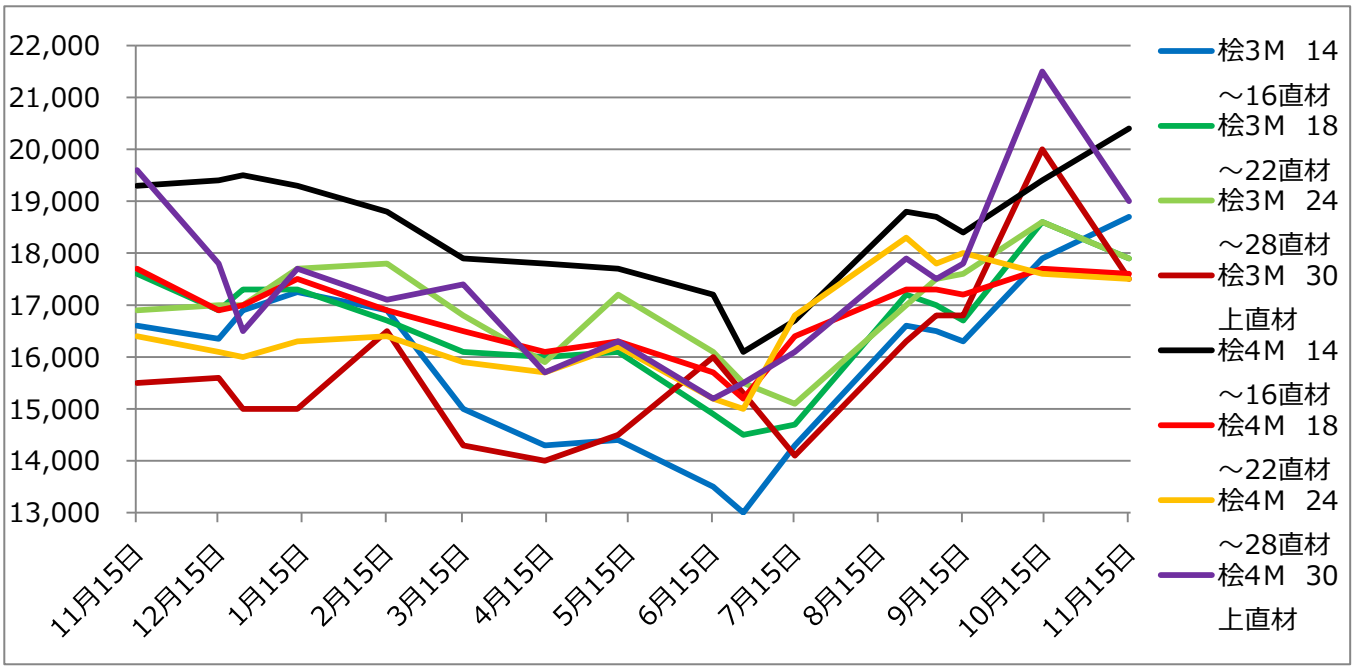
備考：同価格のものはグラフが重なって見えるものもあります。

平成 29 年 11 月の国産材製品市況は、プレカット工場等は、需要期入って総じて高めに稼働していて桧土台や杉・桧柱角をメインにして一般構造材が強めで推移している。羽柄材、小割材なども安定的に推移していて保合～強保合で推移している。輸入材や集成材等は現地のラミナ高などの影響もあって、強保合で推移しており、米松ＫＤや、ＲＷは製品値上げが続いている。役物は昨年同様に引き合いが少なく、弱保合で推移している。現在、各消費地では九州産製品の送りが少なくなっていて、市場・問屋などでは製品が確保しにくくなっており、今後しばらくは一般材を中心に強保合で推移する見込み。



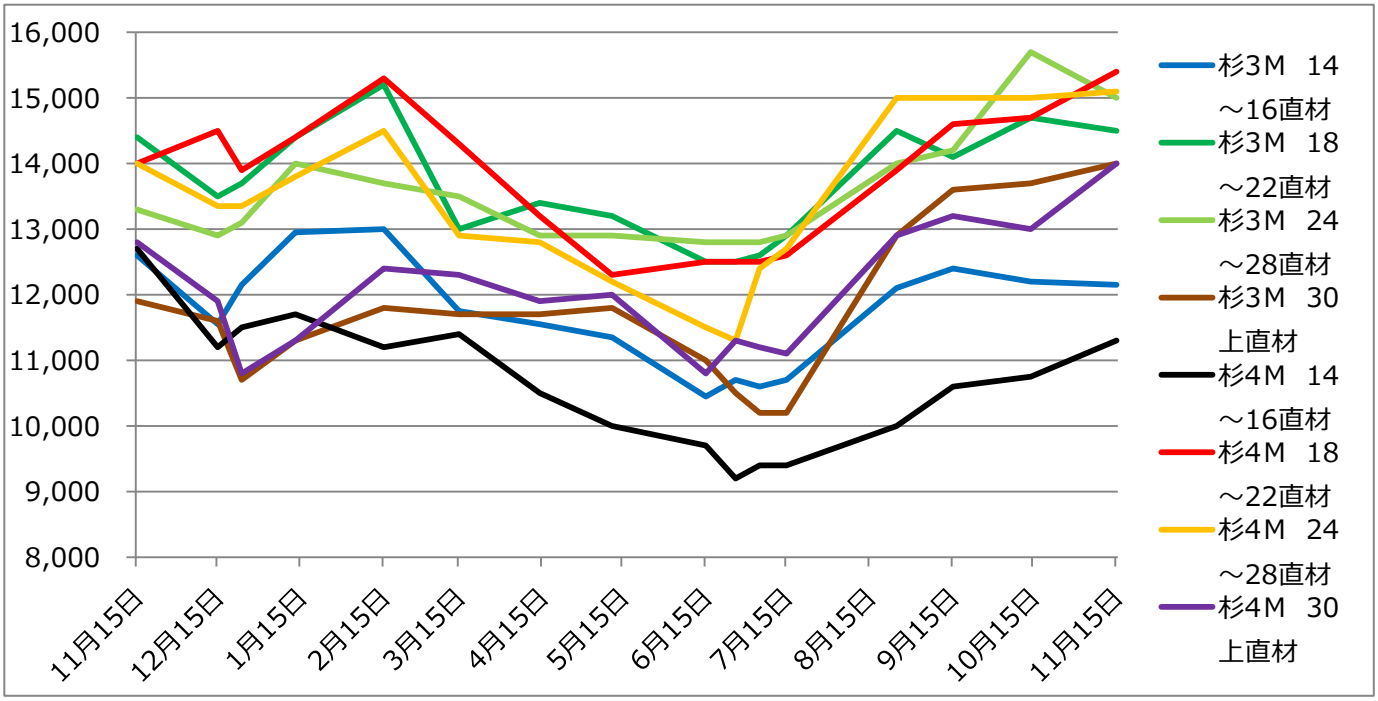
写真は丸宇木材市売(株)下館市場(11/17)土佐材展示会

資料(6)　平成 28 年～29 年丸太市況　桧 3～4m（久万広域森林組合分） 平成 29 年 11 月 15 日迄



平成 29 年 11 月の桧丸太価格は、一般材を中心に製品の荷動きが好調な中で、需要期に入っても出材が増えないことより、すべての部材が強保合で推移している。構造材の荷動きは引き続き土台を中心に好調で、各市場・問屋とも製品在庫が少ないため、年末～年明けまではこのままの水準で丸太も強保合の様相。合板用丸太やラミナ用、梱包用材、チップ・バイオマス用材等の低質材も強保合で推移している。また、役物は一部商品を除いて弱保合の状況だが、丸太不足により概ね保合～強保合で推移している。今後は出材の増加が待たれるが、今のところ今後の大幅増加の見込みが少なくしばらくはこのまま全面高で推移する様相だ。

資料(7)　平成 28 年～29 年丸太市況　杉 3～4 m（久万広域森林組合分） 平成 29 年 11 月 15 日迄



平成 29 年 11 月の杉丸太価格も桧丸太と同じ様相を呈している。

11 月の商況

平成 29 年 11 月の商況は、全体では需要期に入りプレカット工場の稼働が全国的に高めの水準で推移していることや、輸入材の値上げが続いていることなどから、国産材製品相場は、構造材を中心に引き合いが多く、強保合で推移している。また、役物需要は、全体的には低調な推移になっており、全国的に弱保合が続いている。また、米松やＲウッド集成平角は現地丸太高などにより値上げ基調で推移しており、Ｗウッド集成管柱は、保合～強保合、構造用合板は強保合で推移している。今後は年末～年始にかけては丸太・製品とも強保合の様相。今後は、丸太の出材増加が期待される。

(1)　丸太相場

11 月の四国の国産材丸太相場は、需要期に入っても出材が増えない中、製品需要が全体的に好調で、それに合わせて丸太価格も保合～強保合で推移している。また、合板用やラミナ用、梱包用、チップ用やバイオマス用の低質材は、サイプレス・スナダヤ新工場の稼働や、愛媛のバイオマス発電も始まることなどにより全体的強保合で推移しており、一般材と低質材の価格差が少なくなってきている。選木は製品の荷動きは弱保合だが、丸太減で保合～強保合で推移している。今後は、需要期に入り製品需要もしばらくは好調に推移する見通しで、少しでも多くの出材が待たれており、今後も全体的に強保合で推移する見込み。

久万広域森林組合　11月15日相場表

		杉		桧	
長さ	末口計	直	曲	直	曲
3.00	8～11	339	339	350	350
	12	10,100		12,900	
	13		10,100		12,900
	14	9,800	9,000	16,000	15,800
	16	14,500	13,000	21,400	19,300
	18～22	14,500	12,900	17,900	16,800
	24上	15,000	13,000	17,900	16,100
	30上	14,000	13,000	17,500	16,500
4.00	8～11	450	450	424	424
	12	12,100		13,700	
	13		11,000		13,700
	14～16	11,300	10,200	20,400	17,000
	18～22	15,400	13,900	17,600	16,800
	24上	15,100	12,600	17,500	16,100
	30上	14,000	12,400	19,000	16,300
6.00	18上	18,300	16,100	29,000	26,000

（注）　3 桁は本売り、それ以外は㎥あたり円

(2)　国産材製品相場

11 月の国産材製品は、需要期に入り全国的にプレカット工場の稼働が高く、製品桧ＫＤ土台角や桧・杉ＫＤ柱角等の構造材や桧・杉間柱等の羽柄材、小割材など引き合いが多い。また九州では地元需要が好調なことから、各地への出荷が少ないことから全国的に強保合で推移している。今後は年末～年始にかけてはこの様相で推移する見込み。役物は全体的に低調で、カウンター用盤や枠材用の板材はある程度の需要があるものの、役柱や敷居・鴨居材等は、弱保合で推移していて、役物工場は価格・販売面で苦戦している。

首都圏市場の木材標準相場表　　(単位：円/㎥)

品目	樹種	寸　法	等級	10月	11月
柱角	杉（KD)	3M　105mm角	特　等	52,000	53,000
間柱	杉（KD)	3M　30×105mm	特　等	53,000	53,000
柱角	桧（KD)	3M　105mm角	特　等	63,000	63,000
柱角	桧（KD)	3M　120mm角	特　等	58,000	60,000
土台角	桧（KD)	4M　105mm角	特　等	63,000	65,000
土台角	桧（KD)	4M　120mm角	特　等	60,000	60,000

(3)　米材

11 月の国内挽き米松製品は、カナダからの供給の減少や米国内需要が相変わらず好調で現地の丸太需要が活発なことに加えて中国向けの丸太輸出も堅調なことで需給が旺盛で、産地価格が急騰していて、4 カ月連続の値上がりとなっている。このため、大手国内製材挽きの製品は 9 月に続き、10 月も製品値上げに踏み切った。年末にかけても丸太は続伸気配で、強保合で推移する見込み。輸入製品も強保合で推移している。色物は全体的に品不足で強保合、米ツガも米松同様強保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き)　　(単位：円/㎥)

	樹種	寸　法	等　級	10月	11月
平角	米松KD	4M　105×270mm	特　等	57,000	59,000
平角	米松グリン	4M　105×270mm	特　等	46,000	48,000
角材	米松KD	4M　105mm角	特　等	58,000	60,000
角材	米松KD	4M　90mm角	特　等	59,000	61,000
タルキ	米松KD	4M　45×　45mm	特　等	58,000	60,000
筋交い	米松グリン	4M　45×105mm	特　等	47,000	48,000
注入土台角	米ツガ	4M　105mm角	特　等	56,000	56,000

首都圏市場の木材標準相場表(輸入品)　　(単位：円/㎥)

角材	米松KD	4M　105mm角	特　等	53,000	53,000
平割	米松KD	3M　45×90mm	特　等	55,000	55,000
タルキ	米松KD	4M　45×60mm	特　等	55,000	55,000

(4)　欧州材・ロシア材

11 月の欧州材は、産地価格が全面高の様相とユーロ高で輸入コストは大幅に上がる見込みだ。特にラミナは代替え品が無いだけに、集成材メーカーは製品への価格転嫁を進めているがラミナコストに価格転嫁が追い付かない状況だ。R ウッド集成平角は、値上げの動きが進み 6 万円台に入ってきた。一方、W ウッド集成管柱は、杉集成管柱の価格との関係から 1,900 円を超えられずにいる。W ウッド KD 間柱は以前から在庫が多く、値上げの動きは見られない。需要期に入り今後は全体的には強保合で推移する見込み。ロシア材は輸入製品の減少でホームセンター向けの製品出荷は好調だが相場を押し上げるほどの力は無く、価格は保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表　　(単位：円/㎥)

	樹種	寸法	等 級	10月	11月
集成平角（国産）	Rｳｯﾄﾞ	4M 105×240mm	特 等	60,000	61,000
集成管柱（国産）	Wｳｯﾄﾞ	3M 105mm角	特 等	1,890	1,890
間柱（欧州産）	Wｳｯﾄﾞ（KD）	3M 27 ×105mm	特 等	50,000	50,000
集成平角（欧州産）	Rｳｯﾄﾞ	4M 105×240mm	特 等	60,000	61,000
集成管柱（欧州産）	Wｳｯﾄﾞ	3M 105mm角	特 等	57,000	57,000
ﾗﾐﾅ	Wｳｯﾄﾞ	乱尺		38,000	39,000
ﾗﾐﾅ	Rｳｯﾄﾞ	乱尺		38,000	40,000
ﾛｼｱﾀﾙｷ	ｱｶ松KD	3.8M 35×35mm	特 等	62,000	62,000
ﾛｼｱ胴縁	ｱｶ松KD	3.8M 16×40mm	特 等	70,000	70,000

(5)　ＮＺ・チリ材

11 月の NZ・チリ材は、現地丸太が中国・韓国の引き合いが強く高値が続いている。製品は、チリ輸入製品の供給がタイトで価格も上昇しているため 10 月から NZ ラジアタ松国内挽きの代替受注が大幅増となり、実需の梱包・パレット需要もやや上向きとなっていて前年より良くなっている。これにより製品値上げも徐々に浸透している。年末まではこの様相で推移する見込みで、今後もメーカーは製品値上げを模索している。

梱包関連標準相場表　　(単位：円/㎥)

	樹種	寸　法	等 級	10月	11月
割板	ﾗｼﾞｱﾀ松	4M 15×240mm	特 等	40,000	40,000
割角	ﾗｼﾞｱﾀ松	4M 27× 85mm	特 等	38,000	38,000

(6)　針葉樹合板

11 月の国産針葉樹合板は、需要期に入り、直需ルート・木建ルートとも 10 月の荷動きは期待していたほどの勢いはなかったものの、年末に向けた仕事を確保しており、仕入れ意欲も強く、荷動きは堅調で強保合で推移している。これに対応して、国内合板メーカーは増産体制を続けてきているが、旺盛な出荷が続く中で、在庫量も十分とはいえず、需要期に入り在庫は徐々に減少していく見通しで、しばらくは強保合で推移し再び品薄感が強まる懸念が出ている。

首都圏針葉樹構造用合板関連相場表　（大阪地区）　　(単位：円/枚)

	樹種	寸法	10月	11月
針葉樹構造用合板	JAS	12mm　910×1820mm	1,030	1,030
針葉樹構造用合板	JAS	15mm　910×1820mm	1,360	1,360
針葉樹構造用合板	JAS	24mm　910×1820mm	1,950	1,950
針葉樹構造用合板	JAS	28mm　910×1820mm	2,270	2,270

(7)　プレカット

全国の 11 月のプレカット会社の受注状況は、本格的な需要期にはいり、受注格差が見られるものの全国受注平均は高水準だ。大手ビルダーの分譲住宅・賃貸住宅の需要が堅調なうえ中大規模の非住宅物件も需要期に入っていて、特に非住宅物件が全国的に増えている。年内はこのまま需要は続く見込みだが地場需要にバラツキがある。今後は資材がＲウッド集成平角や、米松関係の製品は値上げがあり今後も続く様相、国産材も桧ＫＤ土台や杉ＫＤ管柱も供給が少なく強含んでいる。また、合板も強基調で受注のある工場では仕入れを強化している。年末・年始にかけては職人の人手不足及びドライバー不足への対応が必要となってくる。

11月のプレカット稼働調査（全国平均表）　　単位：%

	10月（実績）	前年比	11月（受注）	前年比	12月（見込）	前年比
北海道	127.8	95.8	135.3	113.6	113.3	100.3
東　北	82.0	83.0	90.0	130.0	89.0	102.0
関　東	97.6	109.1	106.3	98.6	105.0	98.2
中　部	87.1	87.5	98.6	107.5	108.1	122.0
関　西	109.3	129.3	103.8	117.7	101.0	99.5
中　国	128.0	125.0	135.0	100.5	100.0	96.0
四　国	111.5	99.5	111.0	90.0	100.0	92.5
九　州	114.5	111.0	102.0	91.0	—	—
全国平均	106.8	103.8	109.7	104.9	102.3	101.5

日刊木材新聞・木材建材ウークリー他参照

高知県木製品工業連合協同組合

高知県木製品工業連合協同組合では平成 29 年 11 月 25 日（土）に理事会を開催し、組合のロゴを新規に作成し決定しました。

木のあるくらし
高知 木工連

今後は来春オープン予定の坂本龍馬記念館の新館に向けて、県産木材をアピールしていくコーナーの設置などを働きかけて行きます。

トピックス

平成 28 年度ハウスメーカーの構造材の使用状況（日刊木材新聞アンケート等より）

平成 28 年度のハウスメーカーの構造材の使用状況は、主要構造材の集成材採用比率では柱で 71.9%、横架材 72.8%、土台 32.2%となり、柱は前年比 4.7%増、横架材は同 5.5%増、土台は同 0.1%減と集成材の採用率が高まっている。

柱

樹　種	採用率	前年度比
集成材	71.9	+4.7
Rウッド	(22.5)	+1.9
Wウッド	(20.6)	-5.9
杉	(18.4)	+6.3
桧	16.6	-2.7
杉	9.6	-3.8
その他	1.9	−

柱の構造用集成材の採用率に大きな変化があった。柱として使用する樹種はWウッドが主流だったが、平成 28 年度はＲウッド 22.5%、Wウッド 20.6%と逆転し、さらに杉が 18.4%とWウッドに迫ってきた。特に杉は平成 27 年度の採用率が 12.1%だったので、一気 6.3%増加した。Wウッドが 5.9%減少した分をＲウッドと杉が取っている。これは、Wウッドのラミナ供給が不安定だったことと、中国木材や協和木材などの大手が生産を増加したこと、最大手のポラテックが長期契約して積極的に住宅会社に提案したことなどが要因となっている。また、価格もWウッドより安く設定されており、品質面でも向上していることも要因となっている。桧・杉のムク材の採用率が両者とも前年度より落ちていることから、柱材は集成材へと切り替わっていることが伺える。

横架材

樹　種	採用率	前年度比
集成材	72.8	+5.5
Rウッド	(41.7)	+7.7
Wウッド	(12.6)	+5.5
米松	26.9	+8.4
その他	0.3	−

横架材は構造用集成材比率が 72.8%と昨年度より 5.5%増加しており、Ｒウッド、Wウッドとも増加していて、米松ムク材も 26.9%で同じく 8.4%増加している。杉ムク材を使用した会社が減少したことや、回答者に国産材志向の工務店の回答が少なかった点も考えられるが、今の市場をみると横架材は構造用集成材がメインとなっていて、今後もこの傾向が続く様相だ。

土台

樹　種	採用率	前年度比
集成材	32.2	-0.1
桧	(9.5)	−
Rウッド	(8.2)	-4.7
桧	41.3	+8.0
米ヒバ	10.6	-0.6
米松注入	10.3	+1.7
その他	5.6	−

土台は、今年米ヒバ丸太の確保が産地価格の高騰と日本向けの丸太確保が難しくなり、国内挽き大手が 5 月に製材から撤退した。これを受けて土台市場は米ヒバの代替え品として桧や米松注入などへの転換が進んできた。また、米ツガの供給量も減少していることから、桧土台の採用率が増えている。桧集成土台に関しては、耐久性が他の部位以上に求められることでレゾシノール接着剤の使用が求められ、これを供給できる集成材メーカーも減少していることから現状維持となっている。

仕口

樹　種	採用率	前年度比
プレカット	97.1	+0.2
金物工法	(30.1)	-6.0
手加工	0.3	-0.2

仕口加工では、機械プレカットが 97.1%とほぼ全てとなっている。このうち金物工法は 30.1%で今年度は採用率が落ちたが、住友林業のビックフレーム工法や、積水・大和ハウス・フジ住宅・サーラ住宅など大手、中堅ハウスメーカーが金物工法比率を高めており徐々に比率が高まっていく様相だ。

構造材等の採用率推移

柱

(　)内は内数

樹　種	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟 以下	全体
集成材	33.2	78.9	27.0	76.6	30.2	76.1	42.5	70.1	33.3	71.9
（RW）	(5.0)	(15.7)	(4.6)	(18.8)	(7.1)	(22.3)	(19.0)	(21.1)	0.0	(22.5)
（WW）	(6.3)	(31.1)	(13.1)	(25.4)	(16.5)	(37.7)	(13.5)	(23.3)	(3.3)	(20.6)
（杉）	(5.0)	(12.5)	(4.2)	(12.4)	(1.1)	(6.5)	(9.5)	(12.1)	0.0	(18.4)
桧	18.8	6.7	13.6	6.4	26.4	9.3	18.0	14.7	45.0	16.6
杉	48.1	13.4	55.2	16.5	43.4	14.5	29.5	12.8	21.7	9.6
その他	－	1.0	4.2	0.5	－	0.1	10.0	2.4	0.0	1.9

横架材

樹　種	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟 以下	全体
集成材	30.7	66.7	30.2	67.0	19.3	58.8	35.5	63.4	66.7	72.8
（RW）	(15.0)	(41.0)	(13.0)	(35.1)	(3.1)	(38.0)	(18.0)	(39.6)	(33.3)	(41.7)
（WW）	－	(7.9)	－	(9.5)	(10.5)	(11.0)	－	(8.5)	0.0	(12.6)
（カラ松）	(8.8)	(23.1)	－	－	－	－	－	(3.0)	0.0	0.0
米松	48.1	23.1	32.8	20.0	36.6	21.0	40.0	20.1	33.3	26.9
杉	21.2	10.1	29.0	12.4	33.0	12.5	14.5	10.6	0.0	0.3
その他	0.0	－	8.0	0.6	11.1	7.7	10.0	5.9	0.0	0.0

土　台

樹　種	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟 以下	
集成材	23.0	35.5	15.4	27.6	5.0	33.1	16.4	28.4	33.3	32.2
（RW）	(－)	(30.8)	(－)	(3.0)	(－)	(3.6)	(－)	(4.6)	0.0	0.0
桧	72.5	30.8	53.2	32.2	74.0	33.3	56.3	39.2	66.7	41.3
米ヒバ	4.3	7.1	22.1	12.9	－	5.7	9.1	6.8	0.0	10.6
米ツガ	－	15.6	－	13.0	1.0	3.8	－	5.7	0.0	－
その他	0.2	11.0	9.3	14.3	20.0	24.1	15.2	19.9	0.0	5.6

仕 口

	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
プレカット	4.3	7.1	22.1	12.9	－	5.7	9.1	6.8	0.0	10.6
金物工法	－	15.6	－	13.0	1.0	3.8	－	5.7	0.0	－
手加工	0.2	11.0	9.3	14.3	20.0	24.1	15.2	19.9	0.0	5.6

木と人・出会い館 15 周年記念誌発行のお知らせ

高知県木材普及推進協会　木と人・出会い館　では、この度発足 15 周年の記念誌を発行しました。「木と歩み　人を結ぶ」と題してこれまでの住宅実例紹介や建築士など関係各社を紹介する冊子となっています。

会員の皆様は是非 1 冊お求めの上ご覧になってください。

表紙

裏面

1 冊 1,000 円+税　　ご用命は木材協会でも承っております。

高知労働局より最低賃金改正のお知らせ

高知労働局では、県内すべての労働者に適用される「高知県最低賃金」を改正し、10 月 13 日から施行することとしました。

この決定により、10 月 13 日以降分として労働者に支払う賃金は、1 時間 737 円以上としなければなりません。

お問合せ先：　高知労働局　088-885-6024

高知労働基準監督署　088-885-6031

須崎労働基準監督署　0889-42-1866

四万十労働基準監督署　0880-35-3148

安芸労働基準監督署　0887-35-2128

土佐草木花

東京の飲食店に高知の草木を生ける取組をしている女性がいます。
本山町から毎週届けられる野山の草木を和食店などに飾ると人気が出て来て、徐々に注文先も増えてきました。
材料にカナバを使ってアレンジした花束や胸章も開発し、好評です。
カナバの調達先として嶺北地域の製材所をご紹介しました。

土佐草木花（とさそうもっか）
代表　辻 ゆか　氏

（第3種郵便物認可）　高　知

本山の四季 東京に生ける

高知市出身の辻さん

地元住民が毎週草木送る

【東京支社】長岡郡本山町の野山に生えている草木を東京に取り寄せ、和食店などに飾る仕事を高知市出身の辻ゆかさん(49)＝東京都文京区在住＝が昨秋から進めている。本山町のお年寄りや女性たちが季節に応じた植物を毎週送って協力する。都会で見慣れない素材は好評だといい、協力する女性たちも「地域を歩くのが楽しくなった」と喜んでいる。（福田一昂）

今月初旬、辻さんが都内の和食店の玄関先に青い実のついたクリやアセビ、スギの枝を広げた。枝ぶりのよい物を選び、はさみで形を整えながら大きなつぼに生けていく。小さく切った枝は小瓶に挿し、各客席に置いた。

「生き生きとした緑色が喜ばれるみたい。実のついた物も珍しがられます」と辻さん。枯れにくさも考え、主に緑のきれいな植物を扱う。これまで飾ったのはヤマモモやミツマタ、モミの木など。

見掛けた他店の料理長からも声が掛かり、取引先は4店舗に拡大。辻さん宅には毎週、段ボールいっぱいの草木が届き、各店に交換に通っている。

趣味の生け花を生かし、高知に関わる仕事をしたいと昨年9月に始めた。青山などで和食店を経営する斉藤道明社長(40)と知り合い、「高知にある自然の植物を飾れないか」と相談されたのがきっかけだった。

斉藤社長は高知を訪れた際の風景に引かれたといい、「都会で市販される草花は人工的に見え、店の雰囲気に合わなかった。今は四季の自然を感じられるのが魅力」と話す。

辻さんが知人を通じて県内で協力者を探すと、本山町の嬢所地区と上関・下関地区の住民が面白がって快諾してくれた。有料で送ってもらう契約を結んでいる。

嬢所は、地区で行うミニデイサービスの一環として60～80代の4人が草木を集めている。横山幸男さん(80)は「普段から妻とも『あれはどうやろ』と言い合って歩くようになった」と笑う。

上関・下関地区では60～70代の女性7人が月2回集まり、季節のお薦めを話し合う。細川明代さん(68)も「地元で当たり前の草木が『珍しい』と喜んでもらえるのがうれしい」。辻さんがメールで送ってくる、飾った後の写真を見るのも楽しみになっている。

辻さんは今後、料理に添える「つまもの」などでの活用も考えており、「高知の魅力を伝える場面を増やしたい」と張り切っている。

和食店玄関に本山町の草木を飾り付ける辻ゆかさん（東京都港区）

高知新聞記事を転写

行事予定　平成 29 年 12 月・平成 30 年 1 月

12 月	7 日(木)	高知労働基準協会 理事・監事・総務部合同会議（三翠園）
	12 日(火)	大阪木材相互市場(株)第 2 回高知県産材フェア（大阪市）
	15 日(金)	(株)ナゴヤ辻文第 1 回土佐材フェア（愛知県・東海相互木材市場）
1 月	4 日(木)	土佐緑友会新年名刺交換会（ザクラウンパレス新阪急高知）
	10 日(水)	労働災害防止団体協議会　新年安全祈願祭（潮江天満宮）
	22 日(月)	高知県産業振興計画フォローアップ委員会
	30 日(火)・31 日(水)	東京WOODコレクション（東京ビッグサイト）

次世代へつなぐウッドファースト社会目指して

木を育て～木に親しみ～そして木を活かす

森の博士は今年も健在です。もくもくランド森の検定コーナー(29/11/28)

一般社団法人高知県木材協会
〒780-0801　高知市小倉町 2 番 8 号
TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697
http://www.k-kenmoku.com